

# 静岡県西部地域しんきん経済研究所トピックス

2008年12月16日

## 平成21年の経営見通し

静岡県西部地域しんきん経済研究所（理事長 山本長行、以下県西部しんきん経済研究所）は、静岡県西部地域の中小企業を対象に行った「平成21年の経営見通し」をまとめましたのでご案内します。

### 1. 調査概要

調査対象 遠州信用金庫、浜松信用金庫の取引先 636 社  
調査方法 調査表による面接聴取法  
調査時期 平成20年12月1～5日  
回収状況 調査数 636 社 回収数 618 社（有効回答率 97.1%）

### 2. 調査結果（詳細は別添資料をご参照ください）

#### ①平成21年の日本の景気について96%の中小企業が悪くなると予想

平成21年の日本の景気をどのように見通しているかを尋ねたところ、「良い」と回答した企業は0.6%にとどまり、悪いと回答した企業が96.8%を占めた。

#### ②平成21年の自社の業況

平成21年の自社の業況については、「良い」=3.8%、「普通」=13.6%、「悪い」=82.6%となり、「悪い」が「良い」を78.8%上回った。自社の業況においても悲観的である。

#### ③売上も減少を予想

自社の売上見通しを平成20年と比較すると、「増加する」=9.2%、「変わらない」=21.5%、「減少する」=69.3%と、「減少する」が「増加する」を60.1%上回った。

#### ④自社の業況が上向くのは1～3年後を予想

自社の業況が上向く転換時期について尋ねたところ、「6ヶ月以内」と回答した企業は少数で、1年後～3年後の間で意見が分かれた。

### 本件のお問い合わせ先

432-8036 浜松市中区東伊場2-7-1 浜松商工会議所会館9階

静岡県西部地域しんきん経済研究所 富野

TEL 053-452-1510

FAX 053-401-6511

## 特別調査 『平成21年の経営見通し』

サブプライムローン問題発生当初は、実体経済への影響は微減ともいわれ、米国経済の低迷を新興諸国の成長が補うという楽観論もみられた。しかし、金融市場の混乱は原油など商品市況の乱高下をもたらし、平成20年9月のリーマン・ブラザーズ破たん以降は、「恐慌」という声まで聞かれるようになり、世界同時不況に陥った。

静岡県西部地域はここ数年来、「円安」「海外市場の成長」に支えられ、輸出型製造業を中心に堅調に推移してきたが、「円高」「世界同時不況」の影響で歯車が逆回転し、かつてないスピードで景況感が冷え込んでいる。

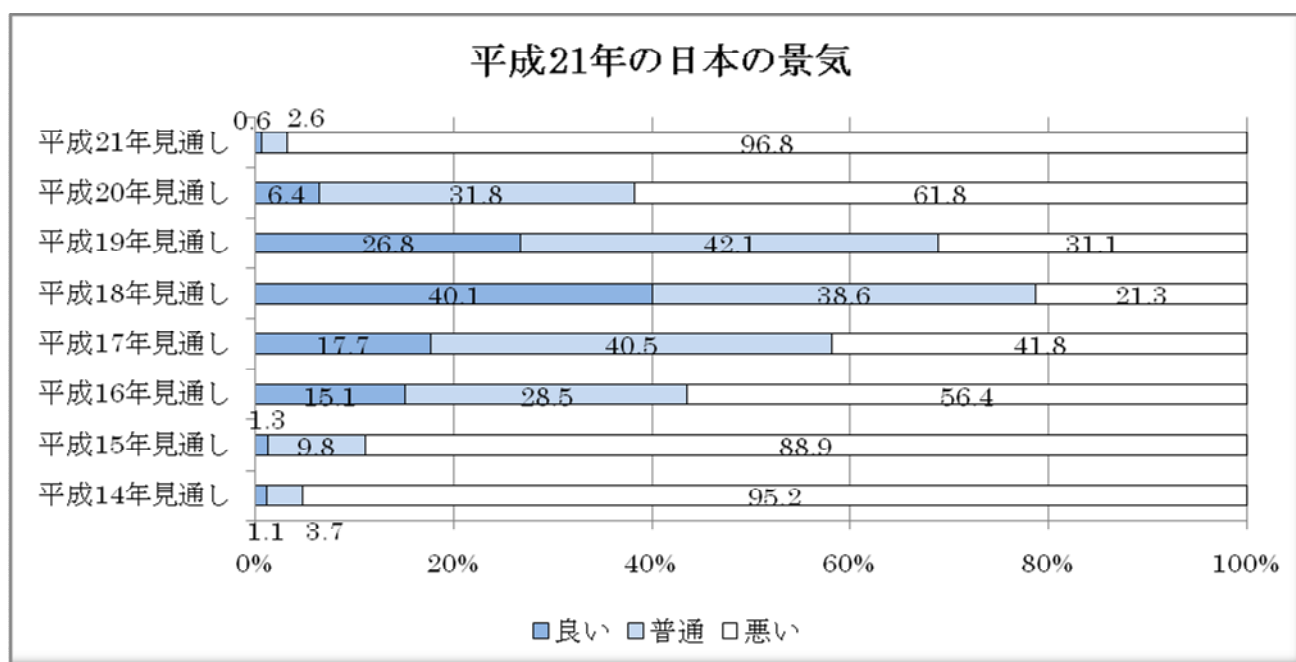
特別調査では、このような情勢の中で中小企業の平成21年の経済・経営に関する見通しについてアンケートを行った。

### ●平成21年の日本の景気 96%の中小企業が悪くなると予想

平成21年の日本の景気をどのように見通しているかを尋ねたところ、「良い」と回答した企業は0.6%にとどまり、悪いと回答した企業が96.8%を占めた。

近年の推移（平成19年まで浜松信用金庫調査）をみると、平成18年見通しでは、「良い」が「悪い」を上回るまで回復し、大企業主導の景気回復がようやく中小企業にも感じられるようになった。しかし、平成19年見通しでは早くも悪化の兆候が見え始め、今回調査では悲観的な見方が急速に高まった。

平成14年見通しも今回同様非常に悲観的であったが、当時は景気が上向き転換点だったのに対し、今回は明るい兆しがまだ見えていない。

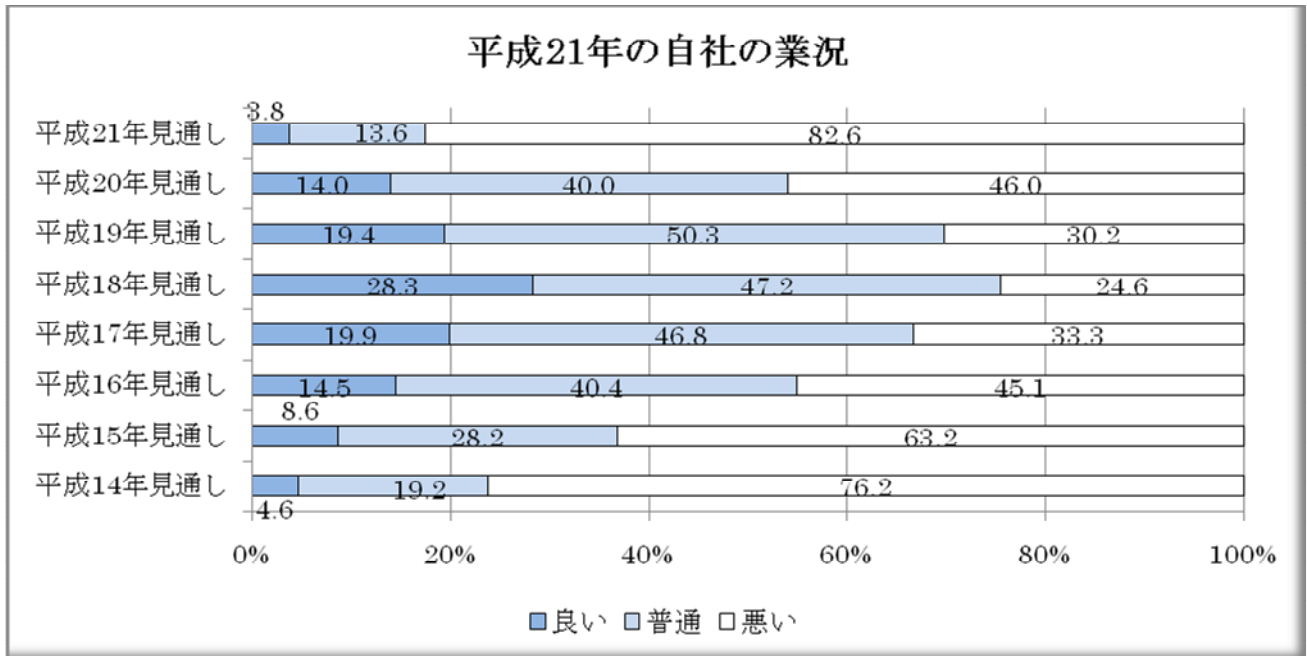


\*毎年12月上旬に実施。平成19年見通しまでは浜松信用金庫調査。

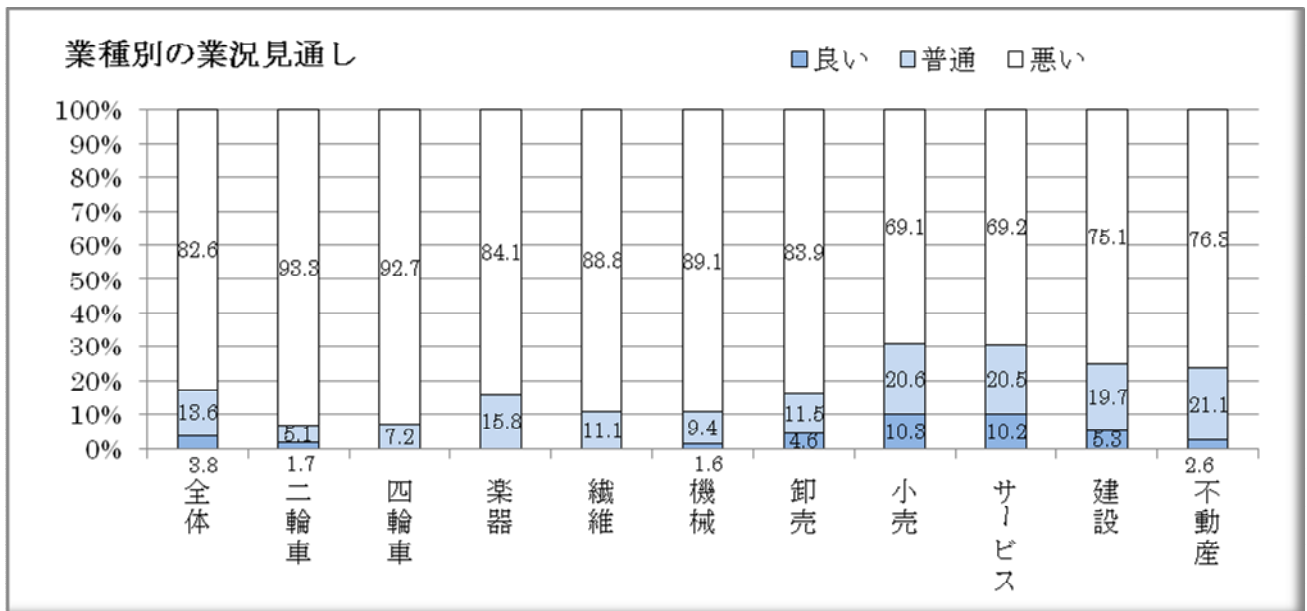
## ●自社の業況も悲観的

平成21年の自社の業況については、「良い」=3.8%、「普通」=13.6%、「悪い」=82.6%となり、「悪い」が「良い」を78.8割上回った。

業種別にみると、昨年までは非製造業の方が悲観的な見方が強かったが、今回調査では製造業の方が悲観的で、特に二輪車・自動車部品製造でその傾向が強い。



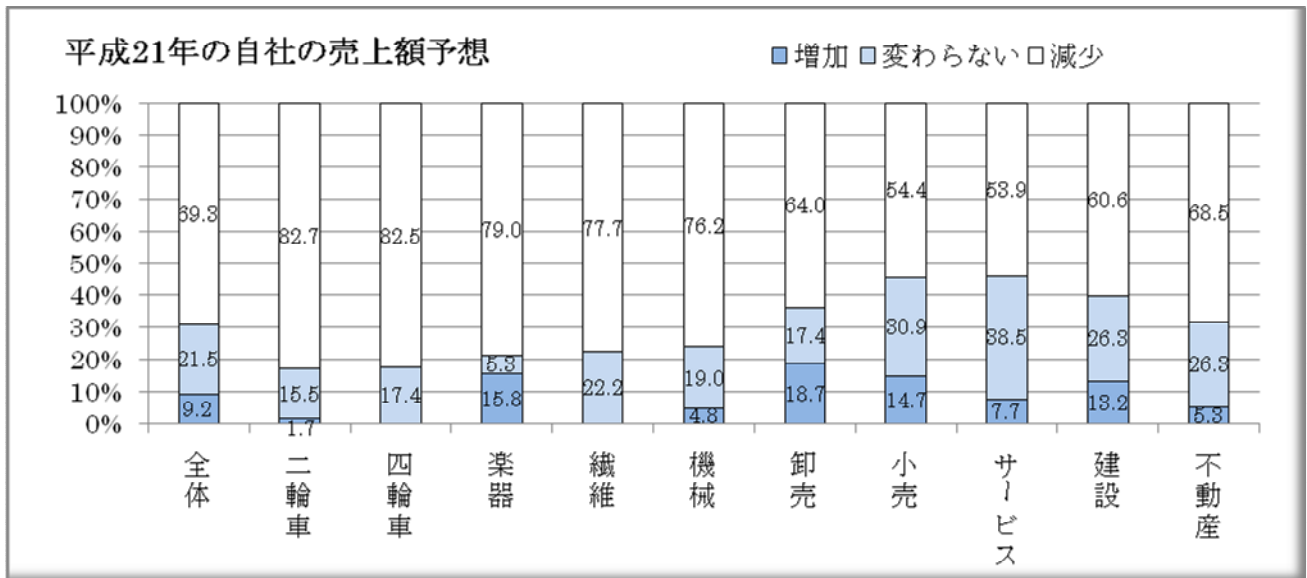
\*毎年12月上旬に実施。平成19年見通しまでは浜松信用金庫調査。



## ●売上も減少を予想

自社の売上見通しを平成20年と比較すると、「増加する」=9.2%、「変わらない」=21.5%、「減少する」=69.3%と、「減少する」が「増加する」を60.1%上回った。

業種別にみると、自社の業況観と同じような傾向が見られ、製造業の方が厳しい見方を立てている。



## ●自社の業況が上向くのは1～3年後を予想

自社の業況が上向く転換時期について尋ねたところ、「6ヶ月以内」と回答した企業は少数で、1年後～3年後の間で意見が分かれた。前述のとおり、平成21年の見通しについては、製造業の方が悲観的な見方が強いが、業況が上向く時期は、非製造業よりも早いと予想している。

